

平成 22 年度 第 2 回 静岡市文化振興ビジョン評価懇話会議事録

- 1 日 時 平成 23 年 3 月 4 日（金） 10 時～11 時 30 分
- 2 場 所 札の辻ビル 5 階 介護認定審査室 1
葵区呉服町二丁目 1 - 1
- 3 出席者 (委 員) 上利会長、川口副会長、黒田委員、高岡委員、林委員
(事務局) 文化振興課長、矢澤参事兼統括主幹、松永統括主幹、
高須副主幹、永宮主事
- 4 傍聴者 0 人
- 5 議 題 静岡市文化振興ビジョン中間評価書について

6 会議内容

(1) 開会：事務局（高須）

第 2 回静岡市文化振興ビジョン評価懇話会の開会を宣言。

委員の過半数以上の出席があるため会議が成立していること及び傍聴者 0 名であることを報告。

今回の議事録署名人を上利会長及び黒田委員に依頼し、両名から了承を得た。

(2) 事務局報告：事務局（矢澤）

①第 1 回静岡市文化振興ビジョン評価懇話会において、事業番号 22309「しずおかコンテンツバレー構想、評価「CCC 施設利用者数は、目標数値にほぼ到達した。」ということについて 3 点の質問があったため、それについて別紙資料 1 をもとに説明を行った。

②第 1 回静岡市文化振興ビジョン評価懇話会議事録について、本日、上利会長及び高岡委員の署名を受けたあと公開することを報告した。

・上利会長：事務局の報告に関し、各委員に質問、意見等を問い合わせるも無し。

(3) 議題「静岡市文化振興ビジョン中間評価書（案）について」

・上利会長：事務局に説明を依頼

・事務局（矢澤）：別紙『静岡市文化振興ビジョン中間評価書（案）』中、「1. 全体評価」について説明。

・上利会長：各委員に意見を問う。

・黒田委員：①評価方法の 3 番目、「まずい」という表現は変更した方が良い。

・事務局（矢澤）：「なじまない」に修正する。

- ・高岡委員：①評価方法の4番目、「というような動きがあるという報告」という表現はわかりにくいので、「というような動きがみえる報告」に変えたらよいと思う。
- ・上利会長：①評価方法の6番目、「無駄があっても仕方が無い」を「直ちに効果や実績が現れるものばかりではない。」に修正してはどうか。
- ・川口副会長：①評価方法の7番目、「それぞれの差を見つけるのが難しい」とあるが、それぞれの差は歴然としており見つけることは可能である。むしろ、「比較評価することは難しい」とすべきではないか。
- ・上利会長：『 』は「 」に訂正すべき。
- ・林委員：①評価方法の各項目の順番だが、1番目と6番目は比較的近い関係にある。読みやすくするために順番を揃えた方が良いのではないか。
- ・川口副会長：項目の「⑤今後について」と「⑥その他」は分ける必要があるのか。両方とも「こうしたらよいという要望」が多い。「⑤今後について」に「⑥その他」の内容を追加したら良いのではないか。

※上記の意見について各委員に確認したところ了承されたため修正を行う。

引き続き『中間評価書（案）』3ページの「2. 目標別評価」を事務局（矢澤）が説明。

- ・上利会長：各委員に意見を問う。
- ・上利会長：全体評価が「各事業とも目標を達成するため概ね良好に実施されているが、さらなる工夫が必要と考える。」とあるのに、目標別評価が「概ね良好に各事業を実施している。」のみでは整合性がとれない。「さらなる工夫が必要と考える。」と追加すべきではないか。
- ・上利会長：『 』は「 」に訂正すべき。

目標別評価（1）しずおかの風土につちかわれた歴史と文化の伝承について

- ・事務局（矢澤）：4番目、「地域に設けられた生涯学習施設等において人材の育成に努めてもらいたい。」に修正する。

目標別評価（2）地域性豊かな市民文化の創造について

- ・事務局（矢澤）：1番目、「駿河区の「きてこ」の指定管理者制度移行時に利用者団体の運営委員会が設けられたが、このようなより一層の地区住民や利用者との関係作りが大切だと思っている。」に修正する。
- ・上利会長：2番目、「考古学に興味をもつようになる状況がある。」に修正する。
- ・事務局（矢澤）：7番目、「機能していない」を「十分に機能していない」に修正する。
- ・事務局（矢澤）：8番目、「文化団体は時代の状況や住民の要望などを踏まえながら柔軟な運営を行うことが望ましい。」に修正する。

- ・事務局（矢澤）：9番目を「事業を実施する際、県外から事業スタッフを集めているが、ホール等文化施設の運営については、独自のスタッフの人材育成、活用を図る必要がある。」に修正する。

目標別評価（3）しずおか文化の発信と交流について

- ・特に意見無し。

※上記の意見について各委員に確認したところ了承されたため修正を行う。

その他意見

- ・林委員：静岡県では文化の定義をしている。静岡市も必要ではないか。
- ・川口副会長：この評価書を各担当者に読んでいただき改善してほしい。インターネット等で積極的に情報公開してほしい。事業評価が行政主導型になりやすいので、もっと一般市民を巻き込んでほしい。
- ・黒田委員：文化関連団体の会議などで評価書等資料を配布してほしい。
- ・上利会長：評価書等をできるだけ多くの人に見てもらうためには、例えば、難しい言い回しを止め、漢字を少なくし、話し言葉に近くするなどの工夫が必要。

引き続き『中間評価書（案）』資料及び資料2、懇話会委員名簿、評価懇話会設置要綱について事務局（矢澤）が説明

- ・上利会長：各委員に質問等意見を問う。
- ・上利会長：本日の修正をどのように反映するのか。
- ・事務局（矢澤）：本日いただいた意見を基に『評価書（案）』の修正を行い各委員に郵送します。内容の御確認をいただき、承認いただければ印刷やホームページへの掲載を行う。再度ご意見があった場合は、会長と内容を確認し、最終決定としたいが良いか。
- ・各委員：了承
- ・上利会長：本日の議題はこれで終了となります。

(4) 事務連絡 事務局（矢澤）

- ①今後のスケジュールについて
- ②謝金について

- ・文化振興課長より御礼の挨拶

(5) 閉会 事務局（矢澤）

これをもって第2回静岡市文化振興ビジョン評価懇話会を終了する。

本日の審議事項が、以上のとおり相違ないことを証明します。

平成 年 月 日

静岡市文化振興ビジョン評価懇話会会長

議事録署名人：懇話会委員
